

# 予算審査特別委員会

第33号議案・平成26年度白石市一般会計補正予算(第7号)から第44号議案・平成27年度白石市下水道事業会計予算までの計12議案について、定例会2日目(2月20日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・大町栄信、副委員長・大野栄光)は、2月23日から2月25日までの間で審査を行いました。その結果、第41号議案・平成27年度白石市介護保険特別会計予算については、反対及び賛成の討論があり、表決の結果、賛成多数で、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論されたおもな点は次のとおりです。

◎平成26年度白石市一般会計補正予算(第7号)

## 総務費

〔質疑〕国庫補助金「がんばる地域交付金」の交付決定により行われる事業は何か。

〔答弁〕地区公民館の屋根改修工事、保育園の温風暖房機器の取りつけ工事、鷹巣第三公園遊具設置工事の3事業である。

## 民生費

〔質疑〕福岡放課後児童クラブが登録人数の増加見込みのため、小学校近くの店舗を借り上げることだが、この場合、交通など子どもたちの安全対策はどのように行うのか。

〔答弁〕敷地内であれば看板等が立てられるが、周辺が県道と市道であるため、職員の配置や規則をつくり、子どもの安全を図っていきたい。

## 衛生費

〔質疑〕放射能対策費について、民家除染の状況を伺う。

〔答弁〕民家除染(越河・斎川・小原・大平・大鷹沢の5地区で実施)はすべて終了している。調査件数は71件である。除染前にモニタリング調査等を行い、数値が低い、非住居などを除き、実際の除染件数は60件である。その内容は、宅地全面の除染が222件、局所的な除染が438件である。

## 労働費

〔質疑〕事業復興型雇用創出助成金の増額について、その内容を伺う。

〔答弁〕東日本大震災の被災地域において、安定的な雇用を創出することを目的に、国の示す一定の要件をもとに被災求職者を雇い入れた事業主に対して賃金等、雇用に係る費用の一部を3年間にわたり助成するものである。

白石市内にある事業所で、平成26年3月31日までの間に

白石市企業立地促進条例に基づく奨励金を活用、あるいは、支援決定を受けた事業主で、被災求職者を10名以上雇用した事業所に対し交付している。

当初予算では、(株)パルタックへの91名分を計上していたが、124名分に増加となった。さらに、(株)TBMで16名が採用されたことにより、助成金を増額したものである。

◎平成27年度白石市一般会計予算

## 総務費

〔質疑〕平成27年度のふるさと納税寄附金について伺う。

〔答弁〕歳入は1千520万円、歳出は780万円の予算を計上している。歳出では、寄附者への謝礼を600万円、そのほか、今年から、ふるさと納税の控除枠拡大や確定申告の手続きを市町村が行うことから、事務量の増加が見込まれるため、諸経費や人件費を計上している。

〔質疑〕市民バス運行管理事業について、市民バス運行計

画の見直し内容について伺う。  
〔答弁〕平成26年度市民バス運行計画の見直しを行い、越河線の上下1便を国道4号バイパス経由の路線で新設し、また、三本木線と福岡線は増便を計画している。これは、昨年開催した市民バスに関する地区懇談会で出た意見・要望を検討して反映させている。

〔質疑〕文化体育活動センターの監視カメラの更新について伺う。

〔答弁〕17年経過している施設内の監視カメラ7台の入れ替えと、過去に投石の可能性があるガラス破損が発生したため、新たに屋外用監視カメラ2台を設置する予定である。

〔質疑〕文化体育活動センターの備品購入は、どのような備品を購入するのか。

〔答弁〕男子新体操用のスプリングつきマット一式の交換費用である。選手の強化と練